

【保土ヶ谷区】令和7年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和7年2月3日 午前9時29分～午前10時49分		
場 所	保土ヶ谷区役所本館地下 地下会議室		
出席者	<p>【座長】 斎藤 伸一 議員 【議員】 森 ひろたか 議員 青木 亮祐 議員 磯部 圭太 議員 関 嵩史 議員</p> <p>【保土ヶ谷区】 神部 浩 区長 山本 実 副区長 室山 孝子 福祉保健センター長 近 和行 福祉保健センター担当部長 長内 紀子 保土ヶ谷土木事務所長</p>		
	ほか関係職員		
議題	<p>1 令和7年度保土ヶ谷区編成予算案について 2 その他</p>		
発言の要旨	<p>議題1 令和7年度保土ヶ谷区編成予算案について</p> <p>(1) 自主企画事業費について</p> <p>青木議員：</p> <p>1区1億円を30年間続けているが、区によって人口が違うのに同じ予算では行政サービスに差がついてしまう。18区の中で保土ヶ谷は真ん中位の規模だが、実際にどう思われているのか。</p> <p>神部区長：</p> <p>人口規模が区によって違うし、例えば連合町内会の数も全く違う。保土ヶ谷は20地区もあるため、課長だけでなく部長も全員、地区担当を持っている。各区の特性に応じたサービスをすべきと考えている。自主企画事業費も以前は一律1区1億円だったが、今は1区7,500万円で、それ以外の部分に人口や高齢化率を掛け合わせ算出するものに改善されてきてい</p>		

る。十分に各区の実情に反映されているかは、全市的な課題だと思っているため市民局とも議論していく。我々としては、与えられた予算の枠の中で効果的な編成を行っている。

青木議員：

完璧に人口比例にする事はないと思うが、上積み部分に関しては差がついていないのが、現状である。市民局には伝えているが、国へ交付金の不公平性を訴えている中で、行政サービスに区ごとで差があつてはいけないと思う。

100周年事業は、100周年を迎える年もこの枠の中で行うのか。

神部区長：

他に100周年を迎える5区と共に特殊要因として別枠で予算要求していきたいと考えている。

青木議員：

1億円の予算内で100周年事業を行うのは厳しいため、5区での連携や別枠の予算が必要だと感じている。

(2) ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～について

森議員：

事業については十分理解をしているし、応援もしているが、市の事業も区の事業も幼少期の支援は手厚いが、小学校高学年から中学生の子供たちへの支援が手薄と思われる。長期休み中のキッズ利用では、昼食は有料になりクレジット払いに行うが、生活保護世帯は、クレジットカードを持っていない場合もあり食べられない子がいた。また中学生は居場所がない、食事もとれないといった子もいる。そうした子どもたちを受け入れる政策ないし施策事業が必要と感じているが、支援体制の充実など検討しているのか。

吉田こども家庭支援課学校連携・こども担当課長：

小学校放課後キッズの昼食に関しては改めてこども青少年局へ話していきたい。

中学校以降の居場所の重要性は、我々も非常に強く感じている。高齢者

の場合は、社会保険制度があり、介護保険や健康保険といった制度に裏打ちされた形で様々な施設・サービス展開がされている一方、青少年への対応はN P Oの方々に支えて頂いているのが現状であり、一番の課題と考えている。幸いにも保土ヶ谷区はいくつかのそういった青少年を支える団体があるため、横つなぎを我々もしなくてはならないと感じている。支えあうメニューの深堀についてまた局に提案していかなければならぬし、そうした横のつながりを充実させていきたい。

森議員：

現場の実態について区からも意見を出していってほしい。また、中学生の居場所は、N P Oや居場所の団体の皆さんのが補助金がない中で運営をして支えているため、区でも現場の声を聞きながら様々な形で支援をしていってほしい。

(3) 災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】について

齊藤議長：

災害時要援護者名簿作成について、44自治会となっているが、名簿登載の人数と自治会の選定経過を教えてほしい。

大熊高齢・障害支援課長：

要援護者の登載者数は、2,468人、名簿を提供している保土ヶ谷区の自治会は、196団体でそのうちの44団体に提供している。その他の145団体は、手挙げ方式で自治会独自に作成している。残りは7団体が取組が進んでいない自治会となる。

神部区長：

補足だが、各自治会町内会に呼びかけをして名簿提供の要望がある団体に提供をしている。

(4) 令和7年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況

青木議員：

区民文化センターについて、難しいところがあると思うが、旧保土ヶ谷小学校の再整備として都市整備局にしっかりと訴えていただきたい。

森議員：

横浜市都市計画マスタープランが改定され保土ヶ谷プランもあるので、この改定のタイミングを狙って今保土ヶ谷で大きな課題になりうるテーマや内容については、取りまとめて機運を高める事も必要だと思う。

齊藤議長：

100周年にむけて、区庁舎の整備の方向性と、区民文化センターの整備、保土ヶ谷小学校の跡地の活用については、明確に打ち出せるように、お願いしたい。区長の考えをここで伺いたい。

神部区長：

区民文化センターについては、横浜市内のうちに整備が出来ていない、着手していない区は、西区、中区、南区、保土ヶ谷区の4区。区内の文化団体からも現状の施設では課題も多いことから、区民文化センターについてのニーズが高いととらえている。整備に向けて所管局としっかりと調整をしていきたい。

区の庁舎、公会堂については、かなり老朽化しているが、70年まで使用的ルールで残り10数年になるため、機会があるごとに市民局、関係局にしっかりと投げかけをしていきたい。

あわせて保土ヶ谷小学校の跡地に関しても、令和5年度当初の区提案の際には、区庁舎、公会堂、区民文化センターなど複合的に調整する形であげたが、なかなか動かなかった。区制100周年であり、こうした現状を踏まえて、しっかりと関係各局に働きかけながら、私の一番の重要課題として実現に向けて取り組んでいきたいと考えている。

齊藤議長：

区民文化センターが未整備である4区の中でも、保土ヶ谷以外の3区は横浜市の文化施設そのものも多いため、やはり保土ヶ谷区は早急にお願いしたい。

西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の基盤整備等の推進について、各議員からもずっとお願いしているが、いつごろ出来るのか教えてほしい。

松藤区政推進課長：

西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の整備については、ずっと区提案で上げているが、都市整備局としても検討していく、といった趣旨になっている。今の状況は、駅舎の改良がまずあった上での駅周辺の開発につながるものであり、駅舎の改良を行う相鉄の駅舎改良の動向を見ながら検討を進める、というのが都市整備局の回答である。

神部区長：

西谷駅の周辺に関してのまちづくり協議会では、皆さん本当に熱心に議論がなされ、我々も一緒にいろいろな意見交換している。しかし難しい課題が多くあって、動いていないのが現状だが、区としてもしっかりと区提案で動かせるよう取り組んでいくため、引き続き先生方のご協力をお願いしたい。

議題2 その他

(1) 区役所別館のあと利用について

磯部議員：

自転車も子どもを載せるなど大型化し、区でも誘導員をつけるなどの対応をしている中で、かねてから私もバイク、自転車の駐輪場増設について要望をしていたが、今回の対応をしてもらえたことに感謝申し上げる。

区役所駐輪場拡張について、車の台数に変更はないが、最近は車も大型化しているし、別館駐車場は柱があるなど非常に狭い。新しく設けられた車室が角にあり駐車されていると曲がりづらいが、設計上の確認はしているのか。特に別館は柱もあり狭いため、例えば大きい車や軽専用のスペースを設けるなど検討をしてほしい。

近藤総務課長：

実際に運転をしながら狭さを感じている。駐車場も日常的に混みあっているため、台数とスペースをどうするか難しい問題と受け止めている。軽専用スペースを置いて差別化ができるかなど検討していきたい。

磯部議員：

今後の課題として検討をしていただきたい。

岩間市民プラザに入っている国際交流ラウンジは、間借りなのか、持ち床なのか。

近藤総務課長：

国際交流ラウンジの床は岩間市民プラザを所有している、にぎわいスポーツ文化局から借りている。返還する形になると思うが、あと利用については局とも相談していきたい。

磯部議員：

保土ヶ谷駅側の貴重な場所であるため、他の用途がないか慎重に検討してから対応をしてほしい。

別館に移転した後のアワーズの跡地はどうするのか。

近藤総務課長：

アワーズについては市民局が所有している。建物の状況や維持コストもふまえて市民局と相談していく。

磯部議員：

公会堂、図書館、清掃会館、帷子小学校、アワーズの一帯は横浜市の土地であるため、保土ヶ谷区と市民局だけで考えずに横浜市全体でこの星川駅周辺をどうするのか検討をしていただきたい。

森議員：

国際交流ラウンジの移転にあたって外国人への周知については、どのように行っていくのか伺いたい。

近藤総務課長：

今施設を利用されている方々に直接だったり、広報よこはま、ホームページなどを通じて丁寧に周知を図っていきたい。

森議員：

特に外国人の方は、内容が伝わりづらいと思う。より丁寧に様々なツールを使っての周知をお願いしたい。

岩間市民プラザやアワーズのあと地利用については、やはり場所がいいため、ぜひ区の施策や区民が集えるような場となるように、創意工夫をお願いしたい。

区役所の駐輪場・駐車場の狭さについてはこれまでも指摘をされてきて
いる。駐輪場については、利用者の自転車も電動自転車でチャイルドシートを載せるなど大型化しているため、その点を配慮した広めの駐輪スペー
スの幅としてほしい。

新たな移動手段であるシェアサイクル導入が進み、新桜ヶ丘から駅方面
に利用している方も見受けられる。多くの方が利用している印象だが、今
回の整備の中で保土ヶ谷区役所についても設置すべきではないか。

近藤総務課長：

今回の駐輪場整備は区役所を利用する方からの足りない、という長年の
声に応えたものとなっている。シェアサイクルについては、横浜市全体で
プロモーションをかけており、既に道路局から区役所周辺に設けられない
かという話が来ている状況。設置場所や時期等含めて調整を開始してい
るため、詳細が分かり次第情報を共有していく。

森議員：

区役所駐車場について、夜間の警備体制はどのようにになっているのか。
また、利用料金を取れる数少ない場所の一つであるが、本館を夜間オープ
ンしないのはなぜか。

近藤総務課長：

本館は業務員が警備のため、夜間もいる体制となっている。また、区役
所の倉庫が駐車場に面しているといった保安上の観点や、地下にある庁舎
設備のメンテナンスを休日夜間に実施するため、夜間は閉鎖している。

森議員：

点検などは毎日行うものではないと思われる。本館地下駐車場は 18 時
から翌 8 時まで車を出せないため利用者は多くないが、利便性を向上させ
る、利用料を徴収するという観点から、夜間の料金を下げるのではなく、
価格を維持した上で夜間シャッターを開けておくということも検討をして
ほしい。

神部区長：

良い提案だと考えている。長年に渡ってこの体制でやってきたため、こ

の運用を変えるにあたり夜間の来庁者が来た際の業務員におけるオペレーションをどう変えていくかという点や、駐車場に面している倉庫のセキュリティ等、いくつか検討をしなくてはならない。しっかりと考えた上で区民・市民の皆さんにとって利便性の高い駐車場利用を検討していく。

森議員：

ぜひお願いしたい。16号線上に電気自動車の充電スポットは数多くあるが、24時間やっているところがない。区役所がオープンになれば、電気自動車の充電を夜間したい人に、利用してもらえると思う。そうした視点もふまえてぜひ検討をお願いしたい。

齊藤議長：

駐輪場については、10年以前から当初コンコースを使えないかと、コンサルにもかけて検討していったが、放置自転車や安全面といった様々な視点で難しいという結論で、相当工夫をして今回のご提案という事だが、コンコースの活用ももう一度考えてほしい。あれだけ広い土地というのはこの辺りにはない。ないからこそ広場が良いという考え方もある一方で、必要なものを配置するという事もぜひ考えてほしい。

近藤総務課長：

確かにあれだけの広さを遊ばせるのは勿体ないと思う。駐輪場なのか違った用途なのかを考えながら、活用について検討していく。

(2) その他

磯部議員：

区役所と土木事務所の機構について問題提起したい。保土ヶ谷区では土木事務所も地区担当を担っているが、地域行事への参加も多い中で、本来の業務が最大限可能なのかについて議論してほしい。これは市民局の方にも関わってくる話になるが、土木事務所が区役所の機構の中に入っているのが良いのか見直しの時期が来ていると思われるため、様々な課題や認識等を洗い出す必要がある。

青木議員：

市民局では区民利用施設が優先される中、土木事務所の環境改善につい

	<p>ては、後回しになってしまっている。豪雨や大雪など長時間の災害対応をその環境の中で行うのは厳しいと思う。区の機構に入って 20 年位になり見直しすべきだが、区長の意見を伺いたい。</p> <p>神部区長：</p> <p>土木事務所のあり方に関して、様々な意見があるのは私も承知している。保土ヶ谷区に来て土木事務所が地域の中で期待されている役割が大きいと感じており、地域と密着している度合いからも区民の皆さん的生活における安心安全をどう守っていくか、そこを最優先に考えていかなければならない。いただいた投げかけを局とも共有しながら区役所のあるべき姿や、区役所の中で何が出来るのかということを考えていきたい。</p>
備 考	